「交流サロン」だより in 大仙 2月号 2024

旧正月の行事が終ったと思ったら、間もなく三月、あっという間に時が過ぎていきます。今にもフキノトウが出てきそうな温かさに少し戸惑いながらも心地良さにひったっている私です。とは言ってもまだ二月、油断は禁物かな!!さて、あれから13年になろうとしています。毎年のように何処かで自然災害の脅威にさらされている我が国の現実に対してやはり常日頃からの備えが重要になっていると感じています。特に、発災の瞬間いかにして自分の身を守るか、その後、生きのびるための食料の確保、そして、雨露をしのぐ方法、そんなことが次々と降りかかってきます!!つい最近ですから能登半島地震をご覧になって理解いただけると思います。もし、今いる所で災害が発生したらと言う想定を一年に一度でもいいから考えてみてはどうでしょうか、その瞬間、自分を守るのは自分しかいない、災害を他人事と思わないで、自分事として捉えて備えていただきたいと思います。未曾有の大災害から学んだことは、先ずは「命を守る」行動をとる、家族を含めて自助、そして地域との連携、共助、その後に公助です。

マイフォト「もう!! 春!!」

令和６年２月19日 AM 11:50頃

マイフォトに一言

２月なのに、小川が温み、鳥海山を除き山々に雪がない、どうなっているのだろうと思います。それは別として、鳥海山が迫って見えたこの日、この機会をのがさないぞと意気込んで出かけました。よほど空気が澄んでいないと山が迫ってくるように感じられないのですが、条件が整っていたのかもしれません?白鳥たちも北帰行の準備のため餌を求め盛んに飛び交っていました。季節の移ろいが一ヶ月位早まっているのではないかと感じさせられる情景に、今年も夏は暑いのかなと・・・・

3月の交流サロン

3月24日(日)

「茶話会」!!

今年度の実績を振り返り来年度の実施計画を検討する会といたします!!

是非、ご参加ください!!

参加費二百円

小学生以下無料

今月の交流サロンから!!

何とか今年も谷さん率いる「グループかぜ」の皆さんによる公演を開催することが出来ました。今回も熱のこもった内容に、観覧くださった皆さんから賞賛の声がしきりで、グループの皆様に対して感謝の想いで一杯になりました。心よりお礼を申し上げます。昼食を交えての交流会の方にもご参加いただき、総勢37名と言う大人数で和気あいあいの交流、前日から昼食の準備などで頑張ったスタッフもこの様子に報われたようです。県南地域での感染症の拡大など懸案事項はありましたが対策を施して実施した次第です。また、今年の昼食の特徴は、知事推奨の「じゃこ天」を使った「じゃこ天コロッケ」なるものを創作、鶏めしに美味しい豚汁、煮物に青菜の浸し、お新香とご覧のようなボリュウムになりました。子供さんが一合近い鶏めしを半分近く食べてくれたことなど、楽しい一時を下さった皆さんに感謝申し上げます。

「グループかぜ」の皆さん

交流会の昼食の時間

「本日の特別メニュー」

東日本大震災による避難者を
支援する秋田県南連絡協議会
発　行　「大仙フレンズ」　担当　高橋　和美
連絡先　〇九〇-九六七〇-二八五二